

発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇ 11月27日(金) 「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

今夏も賑わったアルプスの山々

PHOTO 中平等新一



平成27年度気象遭難対策講習会

山岳遭難防止の基礎と応用
 噴火事例でシミュレーション机上訓練

気象遭難対策講習会が、7月18日(土)午後1時から5時まで県スポーツ会館で行なわれた。講師にウエザーフロンティア東海・気象予報士・大矢康裕氏を迎え24人が受講した。

はじめに高橋優副会長が挨拶をし、岩瀬幹生副理事長が進行役を務め開講した。

第1部は基礎編として①山岳気象の基礎②雲と観天望気③山岳気象の3要素(上昇気流・水蒸気量・大気の安定度)④高度と気温、風の関係、低気圧高気圧、前線。⑤天気図の見方(地上天気図の見方と代表的な天気図、高層天気図の紹介)⑥気象情報の活用(気象庁HP情報、その他の役に立つ気象情報)特に観天望気では雲の種類を覚え、天気にもまつわる諺も参考にする。また、高気圧、低気圧による前線と雲の関係、代表的な天気図による解説で天気の変化を知る。

第2部の応用編では、①過去の遭難事例の解説で、20

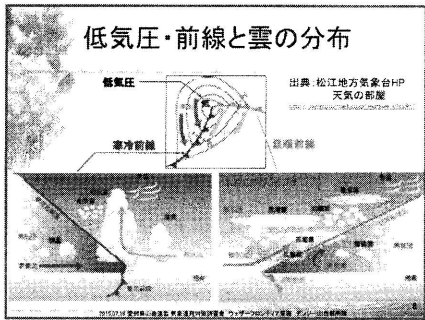
09年のトムラウシ山の遭難事故、2013年の白馬岳の雪崩事故について、天気図をもとに事故に至る経緯を解説②遭難時の行動シミュレーションでは、事故に遭った時にどうするかを考える訓練をすることは、いざという時に慌てないために大事なことである。

今回は想定事例として、富士宮ルート(9合目付近)を5人で登山中にスマホで噴火警報を受信した。

状況は、後方の宝永山の方角から噴煙が見える。弱い南風が吹いている。天気は良いが朝から入道雲が湧いている。メンバーの中で1人が高山病の兆候がある。付近に登っている登山者はかなり多い。

以上の状況下でいかに避難するか、3班に分かれ検討し発表した。

最後に、遭難事故を他人事と思わずに自分事(自分ならどう対処するか)として考えることが、防災の第一歩と思



「大矢講師からの感想」
 問題意識を持って参加しているはずの方でも下調べを毎回実施しない、計画書も作成しないことがある、山行中も自分で読図や気象予測をしないという回答内容にはかなりの衝撃を受けた。このような講習会に参加しないような一般の方は、もっと大変な実態になっているのではと想像すると恐ろしい。気象以前に

います。気象遭難(天)と言われている遭難事故も、地(地形)、人(判断力、山行技術、体力)など必ず天・地・人の要因が入っています。日頃から事故に遭わないように意識して登山を楽しんでください。と結んで講義は終了した。

愛知県高等学校夏期大会 男女共豊川高校が優勝

8月17日～19日に愛知県民の森にて夏期登山大会が開催されました。男子24チーム女子5チームの参加総数は137名と、数年多くの参加者があり賑わいを見せています。
 今年は、初日が荒天となり、公共交通手段が運行見合わせになり定刻集合や行動が制限され、予定通りに進みませんでした。

もつとやることのあるのではと感じました。読図や計画書作成などの内容も講習会の講義の中に入れてもいいのではと思います。
 今回の講習会は、山行レベ

2日目は、前日の雨により沢の水量が多く危険であると判断し、予定の沢登りを中止。代わりに初日のカリキュラムの講習内容である、読図、天気図、救急法、植生、ロープワークを実施した。どの知識も充実したものと見受けられたので、今後の登山行動に生かしてほしいと思います。

ルも様々な方があり無難な内容だったと思いますが、高層天気図も上空寒気の話だけでなく、もう少し多岐に紹介してもいいかもしれません。次回への課題です。
 3日目は、小雨も混じる空

日本山岳協会自然保護委員会 講演と各県の活動報告

自然保護委員長 鈴木行薫

去る9月12日から13日の2日間、第39回日本山岳協会自然保護委員会総会が、福島県・磐梯青少年交流の家で開催されました。
 全国26都道府県から113名の参加があり、盛況な会議でした。本会議が始まる前に、各県の代表者会議が催されましたが、執行部への質疑、要望、批判などが相次ぎ活発な議論が始まりました。
 その後、本会議が始まり基調講演として、「1888年の磐梯山の噴火とジオパーク」というテーマにて磐梯山噴火記念館資料館の佐藤氏より講演がありました。内容は磐梯

模様であるが、2日目の読図講習に基づき踏査競技を実施し大会を終了した。
 (佐橋秀男)
 結果は以下の通りである。
 ▼男子 優勝 豊川 A 2位
 向陽 3位 桜台 B
 ▼女子 優勝 豊川 2位
 桜台 3位 半田

山の過去の噴火の歴史、最近の御岳、桜島の噴火の説明、火山噴火の傾向と登山者の努力義務などについてお話がありました。分かりやすくなる話でした。
 その後、各県からの自然保護活動の報告がありました。各県とも活発な行事が催されており、清掃登山、自然観察会、水質検査、登山道整備、自然保護に関する講演会など様々な行事の報告がありました。残念ながら本県は自然観察会のみ行事であり、少し寂しい思いをいたしました。夕食後は交流会が開催され、福島県の地酒、ワインを嗜

安心して選べる三河地区
 ビギナーからエキスパートまで
 のプロショップ
 JFR刈谷駅前
穂高
 〒448 刈谷市桜町1-13
 TEL:0566(23)8611
 定休日/火曜日
 営業時間/10:00~20:00
 登山用品豊富!

Renopoint
<http://www.renpoint.jp>
 Original Wear & Goods
 オリジナルウェア・CMウェア (広告掲載)
 カジュアルユニフォーム&グッズ
 デザイン・企画・制作
 お気軽にお問合せ下さい。
 特許出願 GLASS PERCH(グラスパ・チ)
 株式会社リノポイント 〒491-0835 愛知県一宮市あずら1-5-7
 TEL:0586-58-5021 FAX:0586-58-5022 E-mail: ito@renpoint.jp

みながら、各県との交流を深めました。

12日は、朝食後にエキスカーションとして磐梯山登山と五色沼散策組に分かれました。磐梯山は八方口からの登山で、眼下に猪苗代湖や会津盆地、五色沼、檜原湖を眺め、遠くには飯豊連峰、吾妻連峰の山並みを見ることができました。

全体の感想としては、各県からの出席者は個性が強く、熱心に自然保護活動を行っていると感じました。本県としても、他県の自然保護活動を参考にして、できることから一歩ずつ活動を進めたいと改めて感じました。

〔出席者〕 鈴木行薫、杉本三郎、磯野富士郎、梶山みどり、横田よしえ

中高年安全登山指導者講習会(東部地区)

**磁石や高度計・観天望気の実習
研究協議「気象遭難を防ぐ」**

中高年安全登山指導者講習会「東部地区」が、9月11日から13日に東京都王子市「高尾の森わくわくビレッジ」明治の森高尾公園高尾山に於いて開催された。

24都道府県から62名が参加し1日目は講義1「中高年登山の課題について」講義2「気象遭難の事例と遭難を防ぐために」講義3「登山における怪我と病気」が行われた。

2日目は、山頂で観天望気や磁石と高度計を用いてナビゲーションの実習、それに搬送の実習を高尾山付近の稜線で行った。

3日目は、講習4「奥多摩

からの出陣者は個性が強く、熱心に自然保護活動を行っていると感じました。本県としても、他県の自然保護活動を参考にして、できることから一歩ずつ活動を進めたいと改めて感じました。

〔出席者〕 鈴木行薫、杉本三郎、磯野富士郎、梶山みどり、横田よしえ

における遭難の実態」と研究協議「気象遭難を防ぐには」を班別に行って発表した。

最後は閉講式で挨拶の後、参加者に修了証が授与され終了した。

講習会に参加して

遭難事故防止の対応など

やまびこ山想会
宮森 千治

講習会に参加して感じた事は、テーマの安全登山を如何にして行うか？改めて考えさせられた事と参考になった講義ばかりでした。

印象に残った私の登山

4

アンデスの氷壁に挑む

中京山岳会
浜田 勝信

今から50年ほど前、私が中京山岳会に入会した頃は登山ブームで国内の未踏ルートの登山や、海外の山に夢をいっていました。

ヒマラヤ登山が禁止されていた頃で、長野県山岳協会と交流していた愛知県山岳連盟より、補強隊員として、南米ペルーアンデス遠征隊に参加し、ペルーアンデスの未踏峰サンタクルス・ノルテ峰の氷壁を挑み、初登頂した山が印象に残った登山であります。

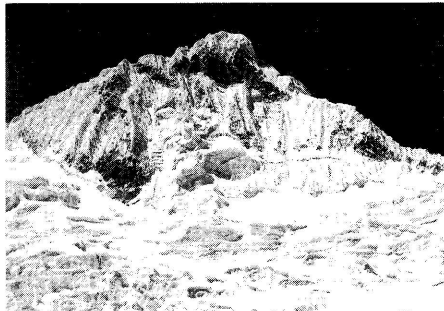
登山隊は、太平洋を二十五日間かけて、船で遠征し、外貨持ち出しが、一人五百ドルの時代、多くの支援や、協力をいただいた登山隊でありました。

ペルー・アンデスはワスカランを最高峰に六〇〇〇メートル級の山々が連なり、未踏峰も残され、懸垂氷河と紺碧の空、大草原の連なる山域で、ヒマラヤとは、異質の魅力を秘めています。

サンタクルス・ノルテ峰(五八二九m)の西壁は、アンデス特有の気候から、青く光る氷壁に覆われ、頂上直下の二つの昔雪、登攀ルートは四〇〇メートルの氷壁から稜線に登路を挑み、稜線でのピバークをしてアタック、初登頂に成功した。

当時の登攀は、「不可能を可能にした類のない立派な記録でアンデス登攀史の中でも白眉である」と評されました。

登山隊に参加し、氷壁に挑み、成功したこと、長野県山岳協会の諸兄と今も交流を深めていることは、私の登山人生に今も生かされていると確信いたしております。



ペルー・アンデスはワスカランを最高峰に六〇〇〇メートル級の山々が連なり、未踏峰も残され、懸垂氷河と紺碧の空、大草原の連なる山域で、ヒマラヤとは、異質の魅力を秘めています。

サンタクルス・ノルテ峰(五八二九m)の西壁は、アンデス特有の気候から、青く光る氷壁に覆われ、頂上直下の二つの昔雪、登攀ルートは四〇〇メートルの氷壁から稜線に登路を挑み、稜線でのピバークをしてアタック、初登頂に成功した。

当時の登攀は、「不可能を可能にした類のない立派な記録でアンデス登攀史の中でも白眉である」と評されました。

登山隊に参加し、氷壁に挑み、成功したこと、長野県山岳協会の諸兄と今も交流を深めていることは、私の登山人生に今も生かされていると確信いたしております。

<p>うなぎ錦三丁目 い ぼ しょう</p> <p>い ぼ しょう</p> <p>〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号 TEL <052> 951-1166 番 営業時間 午前 11:00~午後 2:30 午後 4:00~午後 8:00 定休日 日曜日・第二・第三月曜日</p>	<p>CLIMBING PARK 東三河初のクライミング施設</p> <p>CLIMBING PARK</p> <p>http://climbing-park.com ☎0532-26-3737</p> <p>住所:愛知県豊橋市関屋町138番地</p> <p>MONTANA</p> <p>モンタニア</p> <p>住所 愛知県豊橋市宣町5番地 ☎0532-55-0125 http://www.montania.jp</p>
--	--

講義1の「中高年登山者の課題について」では、山岳遭難者が毎年増えている事と様態別では道迷い・転倒・滑落が多い。その背景と問題点、安全登山のための対策・教育等の講義を受け、指導者としてのスキルアップができたと思います。

講義2「気象遭難の事例と気象遭難を防ぐために」では天気図より風の方向・強さ、天候等の見方、雲の発生原理も解りやすく説明頂き、気象遭難事例では低気圧接近時には一時的に穏やかだったが、通過した後は等高線が込み合った強い冬の気圧配置になった事など参考になりました。

12日行われた実習では「高尾城山北東尾根を登りながらナビゲーション実技」で、地図を見ながら尾根を登り、コンパスを使って現在の確認

平成27年度全国山岳遭難対策協議会

年毎に増加している遭難事故！

副会長 高橋 優

第52回全国山岳遭難対策協議会（主催・文部科学省他）が、去る7月2日（木）文部科学省3階講堂で開催され、全

国から警察庁、消防庁、学校山岳関係者300名が出席し、最初に文部科学省・森岡裕

や目的地への方向の見極め等を行い、城山山頂での観天望氣とセルフレスキューを行って実習を終え、宿舎に戻って18時より情報交換会が行われた。食事をしながらの他県との交流は大変有意義でした。

13日「奥多摩での遭難事例」滑落の場所が同じ所で多い事や、道迷いにより近道のため危険箇所を降りた時の事故例や、行方不明者の対応等の講義でした。講師は元青梅警察署山岳遭難救助隊の方であり、話の内容には迫力がありました。

その後「気象遭難を防ぐには」をテーマに、グループに分かれて討議を行い、まとめた発表があった講習会は終わりました。

◎次回理事会は
1月26日（火）です

策スポーツ振興課長が挨拶し会議が進められた。

〔報告〕

①平成26年中における山岳遭難状況（概要後記に記載）警察庁生活安全局地域課課長 補佐・川合伸

②平成26年御嶽山噴火災害における消防機関の救助活動概要 長野市消防局篠ノ井消防署所長補佐・山越洋

③「火山登山者向けの情報提供について」気象庁地震火山課火山防災情報調整室火山防災係長・森井敦司

次に講演が行われた。

①「山岳地域における診療体制の現状と問題点（報告と提言）」国立大学法人香川大学医学部付属病院主述部部长・白杵尚志

②「一般登山者の危機管理意識と安全登山技術の向上への普及啓発の方策」登山届システムコンパスの利用に就いて 日本山岳ガイド協会常務理事 武川俊二

▼平成26年中の山岳遭難状況
1. 全国の発生状況
・発生件数2293件（前年対比+121件）遭難者2794人（前年対比+81人）うち死者・行方不明者311人（前年対比-9人）負傷者1041人（前年対比+38人）無事救助1442人

（前年対比+52人）

発生件数、遭難者が統計の残る昭和36年以降で最も高い数値となった。

2. 都道府県別の発生状況 山岳遭難の発生件数を都道府県別にみると

①長野県272件②富山県133件③北海道120件の順であった。

また、年齢層別では40歳以上の遭難者が2136人と全遭難者の76.4%を占めており、このうち60歳以上が1401人と全遭難者の50.1%を占めている。また、40歳以上の死者・行方不明者が286人と92%で、このうち60歳以上が214人と68.8%となっている。

次に、単独登山における死者・行方不明者は190人であり、通信手段の使用状況では、全発生件数2293件の75.4%が遭難現場から通信手段（携帯電話、無線）を使用し、救助を要請している。携帯電話での救助要請は、通話エリア内での万一の通話手段として有効であるものの、多くの山岳では通話エリアが限られることやバッテリーの残量に注意が必要である。なお、その他の項目については別表（次頁）を参照されたい。

公官庁の許認可申請・権利義務・事実証明の書類作成

西山行政書士事務所

〒460-0002

名古屋市中区丸の内三丁目21番21号

丸の内東桜ビル1004号

TEL: 052-961-6506 FAX: 052-961-6507

URL: http://www.nygs-office.com/

facebook: http://www.facebook.com/nygs.office

名古屋駅前の山用品専門店

駅前アルルス

〒450-0002

名古屋市中村区名駅4-4-10

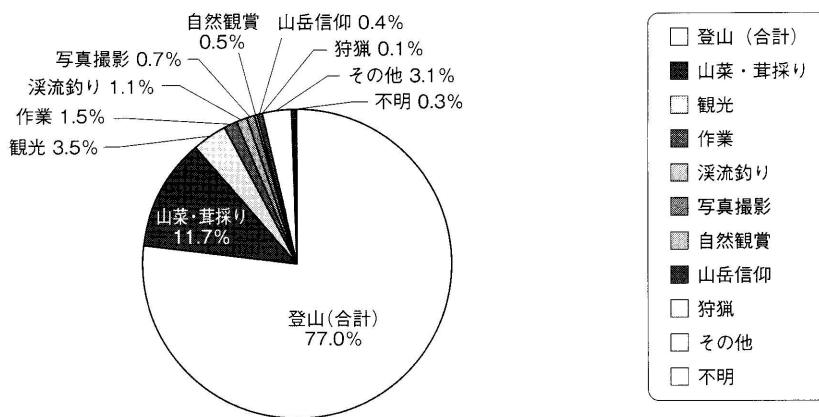
名古屋クロスコートタワー 1F

TEL 052-565-1417

◆目的別山岳遭難者

	平成26年		平成25年		増 減		
	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	増減率	
登 山	登 山	1,828	65.4%	1,645	60.6%	+183	11.1%
	ハイキング	188	6.7%	150	5.5%	+38	25.3%
	スキー登山	58	2.1%	61	2.2%	-3	-4.9%
	沢 登 り	43	1.5%	48	1.8%	-5	-10.4%
	岩 登 り	34	1.2%	43	1.6%	-9	-20.9%
	登山(合計)	2,151	77.0%	1,947	71.8%	+204	10.5%
	山菜・茸採り	328	11.7%	360	13.3%	-32	-8.9%
	観 光	99	3.5%	130	4.8%	-31	-23.8%
	作 業	43	1.5%	59	2.2%	-16	-27.1%
	溪流釣り	31	1.1%	32	1.2%	-1	-3.1%
	写真撮影	20	0.7%	20	0.7%	±0	0.0%
	自然観賞	14	0.5%	3	0.1%	+11	366.7%
	山岳信仰	10	0.4%	10	0.4%	±0	0.0%
	狩 猟	3	0.1%	6	0.2%	-3	-50.0%
そ の 他	87	3.1%	146	5.4%	-59	-40.4%	
不 明	8	0.3%	0	0.0%	+8	-	
合計(人)	2,794		2,713		+81	3.0%	

平成26年 目的別山岳遭難者の割合



◆態様別山岳遭難者

	平成26年		平成25年		増 減	
	人 数	構成比	人 数	構成比	人 数	増減率
道 迷 い	1,163	41.6%	1,134	41.8%	+29	2.6%
滑 落	501	17.9%	460	17.0%	+41	8.9%
転 倒	401	14.4%	393	14.5%	+8	2.0%
病 気	187	6.7%	221	8.1%	-34	-15.4%
疲 労	162	5.8%	137	5.0%	+25	18.2%
転 落	90	3.2%	73	2.7%	+17	23.3%
野生動物襲撃	48	1.7%	42	1.5%	+6	14.3%
悪 天 候	42	1.5%	64	2.4%	-22	-34.4%
落 石	16	0.6%	17	0.6%	-1	-5.9%
雪 崩	9	0.3%	20	0.7%	-11	-55.0%
鉄 砲 水	2	0.1%	7	0.3%	-5	-71.4%
落 雪	0	0.0%	3	0.1%	-3	-100.0%
有毒ガス	0	0.0%	1	0.0%	-1	-100.0%
そ の 他	108	3.9%	83	3.1%	+25	30.1%
不 明	65	2.3%	58	2.1%	+7	12.1%
合 計	2,794		2,713		+81	3.0%

国体山岳競技東海ブロック大会

少年女子(ボルダリング)リード競技 堂々の1位

7月18日と19日にかけて三重県で国体山岳競技の東海ブロック大会が開かれた。前日までの台風による風雨が強く、野外にあるリード会場の設営が難しかったため、1日目のリードと2日目のボルダリーが入れ替えられた。

1日目は津市のKOWALL三重(ボルダリング競技)、2日目は鈴鹿市の三重交通Gスポーツの杜鈴鹿サッカークラブ(リード競技)がそれぞれ会場となった。

成年女子は三浦真理子さん、大羽望未さんが出場、少年男子は豊川高校の福岡太一君、伊藤千尋君、少年女子は大場美和さん、倉菜々子さんが愛知県代表選手として出場し、厳しい接戦で日頃の鍛えた技を静岡県、三重県、岐阜県の代表と競い合った。愛知県からはビレイヤー・田山先生、審判・岩狹先生、総務・北村も役員で参加した。2日間の競技の総合成績の結果、少年男子は4位であり、まだまだ実力不足といえた。成年女子は逆転で入賞できそうであったが、最終的には4位、少年女子はボルダリング競技とリード競技ともに堂々の1位となった。来年は

愛知県の担当である。さらに練習を積んで、チームの一層の成果が上がることを期待したい。(北村憲彦)

西尾高校登山部女子 インターハイ出場！ おめでとうございます

日々のトレーニングが報われ、うれしい結果となり、ほんとに良かったですね。私は西尾市在住で、愛知県山岳連盟の常任理事として事務局の仕事をしている相山と



県高校総体登山大会で優勝した同校のみなさん

申します。高体連登山部も山岳連盟の会員ですので、高校生の方々の活躍の様子も逐一知ることができ、特に今年嬉しくお手紙を差し上げました。

全国大会の『高島トレイル』は山が低く、夏場の暑さは相当なものと思います。虫対策も必要でしょう。気持ちをしつかり持ってチームワークで乗り切ってくださいね。応援していますよ。(事務局・相山みどり)

応援ありがとうございました

西尾高校3年 伊藤 玲奈

このたびは私たちのインターハイ出場を応援していただきありがとうございます。応援メッセージとてもうれしかったです。

第70回和歌山国体山岳競技

少年女子リード競技で優勝

10月3日から行われた和歌山国体で、県勢の少年女子の大場美和(光ヶ丘女子高三年)倉菜々子(刈谷南中三年)ペアがリード競技で優勝し、ボルダリング競技も3位になる成績を取めた。▽ボルダリング競技予選 成年男子 21位落選

私がインターハイ出場することができたのは、私を支えてくれた多くの人のおかげです。苦しい山も、楽しい山もどんな山でも一緒に登ってくれた仲間、あたたかく支えてくださった顧問の先生方、いつも応援してくれる家族、そして、手紙を下さった相山さんなど、まだまだたくさんの方がいます。暑くなることを教えていただいたおかげで、冷たいインナーやひんやりするタオルなど暑さ対策をすることができました。本当に虫が多く、朝起きるとバツタと一緒に寝ていました。各県の代表チームが集まるインターハイは、とても刺激があり、多くのことを学べました。高校生活最後の大会をかけたがない仲間と共にインターハイに出場できたことは私の一生の宝物です。応援していただき本当にありがとうございます。

- 少年女子 2位決勝進出
- ▽リード競技予選
- 成年男子 41位落選
- 少年女子 6位決勝進出
- ▽少年女子リード競技決勝
- 優勝
- 少年女子ボルダリング競技
- 決勝 3位

月日	内容
11. 3	第37回自然観察会(段戸裏谷)
11. 7~ 8	高体連新人大会(釈迦ヶ岳)
11.10	常任理事会(OMCビル)
11.10	自然保護委員会(県スポーツ会館)
11.15	読図講習会(大高緑地公園)
11.27	「遭難を考える」講演会(県スポーツ会館)
12. 1	常任理事会(OMCビル)
12.12	第2回クライミング記録会(キューブ)
12.17	冬山遭対会議(県スポーツ会館)
12.23~24	第6回高校生クライミング選手権(埼玉)

◆ 11・12月スケジュール

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE TOUR SERVICE

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社

まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい

個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階

FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com

ホームページ <http://www.alpine-tour.com>